

大崎市環境の状況に関する報告書(令和5年度の取り組み)に関する意見等及び回答

ページ	担当課	成果指標	意見等	担当課回答	備 考
14	田尻総合支所 地域振興課	おおおさき自然観察バスの運行回数	環境教育活動推進のため、他部署の世界農業遺産担当との連携ができたことは大変良いと思う。	環境教育活動の推進を図るため、引き続き、世界農業遺産担当との連携により、市内の学校及び関連NPO法人等が行う自然観察ツアーに自然観察バスを提供してまいります。	
17	農村環境整備課	森林経営計画の計画数	森林経営計画のメリット等を周知すべき。	森林経営計画作成によるメリットとして、税制面、金融面、補助金等の支援措置がありますので、本市の国県補助金の上乗せ補助制度等による支援も併せて、周知に務め、森林所有者の意欲向上を図ってまいります。	
17	農村環境整備課	森林経営計画の計画数	「昨今の物価高の影響による木材需要の低迷等」が影響していると記載されており、確かに原因の一つかも知れませんが、「不在村森林所有者の増加や木材価格の低迷、造林費用の増大により、森林所有者等が林業経営に関心を持てなくなっている」ことの方が影響が大きいと思います。	<p>森林整備への補助金として国や県の補助制度が整備されていますが、現行の補助率では採算が合わないとの声も多いため、本市独自施策として1割程度の補助率の上乗せ事業「里山林再生事業補助金」を講じ、また、木材需要を図る取り組みとして、木造住宅への建築支援「おおさき地域材需要拡大支援事業」を実施しているところです。</p> <p>現在、森林環境税を財源として森林整備を進める「森林経営管理制度」において、「森林経営」に関するアンケート調査を実施しておりますが、森林に関心を持つキッカケにもなっており、自ら森林経営管理を行う事例も出てきております。</p> <p>当該調査は、森林整備が行われていない森林所有者を対象に計画的に実施しておりますが、世代が変わり、森林の場所がわからない森林所有者が増えてる現状にあります。所有森林の情報を提供するとともに、森林に関心を持たれ、自ら森林経営管理を行いたい森林所有者へは、国・県及び本市の支援策等をお知らせしながら、森林経営計画作成に繋がるよう進めてまいります。</p>	

大崎市環境の状況に関する報告書(令和5年度の取り組み)に関する意見等及び回答

ページ	担当課	成果指標	意見等	担当課回答	備 考
18	農村環境整備課	市産材の使用 材積	市産材の特徴を特記しては。	<p>木材は、調湿性や断熱性に優れ、リラックス効果もある素材であり、木材の良さをそのまま味わえる無垢材や、近年では、CLTなどの新たな木材需要も創出しております。</p> <p>市内には木造建築を扱うハウスメーカーや工務店、設計事務所を有し、近傍には国内最大級の合板工場群や大規模製紙工場が立地するなど、木材需要先の確保の点でも有利な条件下にありますので、これらのポテンシャルを最大限に活かし木材のブランド化と地産地消を推進するとともに、推進にあたり委員おただしの市産材の特徴についても、利用者の声等を取り入れ、PRすることも必要と考えます。</p>	
19	農村環境整備課	防除材積	森林病害虫対策は防除の徹底により被害が減少することから、被害量の減少を評価するものと思われますが、成果指標が防除材積となっているため、被害量が増えても高い評価となってしまうことに違和感を感じます。	<p>防除材積とした指標については、大崎市総合計画の主要施策の事務事業評価表による指標に基づいたものです。</p> <p>目標値の設定にかかる疑義と思われますので、ご指摘の件につきましては、検討してまいります。</p> <p>本市の森林病害虫対策については、森林パトロール、市民からの情報などにより把握に務め、補助金の活用を前提に予算の範囲内で計画的に実施しているところです。</p>	
22	農村環境整備課	有害鳥獣捕獲 頭数（イノシシ）	クマ・シカ等も増加してきています。イノシシ対応を更に他にも適応していかねばと考えます。	<p>本市では、有害鳥獣による農作物被害対策として、「捕獲対策」「侵入防止対策」「地域ぐるみの環境対策」「ジビエ対策」を行っております。ニホンジカについては、イノシシと同様に大崎市鳥獣被害対策実施隊による通年の捕獲、農地への電気柵設置による侵入防止、地域ぐるみの環境対策を進めております。ツキノワグマについては、近年の被害拡大を受け昨年4月に指定管理鳥獣に追加されましたが、繁殖力が高くなく、乱獲は絶滅の恐れもあるため、「第四期宮城県ツキノワグマ管理計画」では、生態系の維持や人との共存を念頭に置いた対応を基本としております。しかしながら、頭数が増加傾向にあり、農作物被害も拡大していることから、電気柵の設置や地域ぐるみの環境対策をすすめることで農作物被害の軽減を図るとともに、市街地への出没も増えて住民被害への危険性も高まっていることから、有事の際の対応についての検討も進めてまいります。</p>	

大崎市環境の状況に関する報告書(令和5年度の取り組み)に関する意見等及び回答

ページ	担当課	成果指標	意見等	担当課回答	備 考
25	観光交流課	教育旅行受け入れ人数	私が所属する組織では、毎年、教育旅行のSDGsプログラムの一環として、県内の高校生や県外からの大学生をみやぎ大崎観光公社と連携し積極的に受け入れている。以前にはJICE日本国際協力センター東北支部と連携し、 ASEAN諸国の大学生も受け入れも致しました。今後も大崎市をPRするため積極的に大崎市と連携して参りますので、国内外および県内の高校生・大学生対し積極的に教育旅行・視察をPRしていただきたいと思います。	教育旅行の受け入れ誠にありがとうございます。今後も国内外の旅行エージェントや学校を対象に、積極的にプロモーションを展開し、大崎市へ誘致を図っていきます。	
26	農政企画課	生きものクラブ延べ参加人数	プログラム内容の検討を。	おおさき生きものクラブ連携団体とともに、プログラム内容について検討してまいります。	連携団体（7団体） 特定非営利活動法人エコパル化女沼 特定非営利活動法人鬼首山学校協議会 特定非営利活動法人蕪栗ぬまっこくらぶ 特定非営利活動法人シナイモツゴ郷の会 特定非営利活動法人田んぼ大崎自然界部 SocialAcademy寺子屋
27	建設課	公園での事故発生件数	公園の維持・管理に疑問を感じています。特に、新大江川の遊水地は、以前は公園であって、現在公園をなしていないと思います。	ほなみ親水公園につきましては、一級河川新大江川の遊水地を兼ねた公園となっております。ビオトープ池には現在、葦が生い茂っており、地元からも刈り払いについて要望を頂いているところですが、現状は水位が高いため、一部範囲でしか刈り払いが出来ていない状況ですので、現在、宮城県とともに環境改善に向けた検討を進めております。	
34	環境保全課	危険空家等除却費補助金交付件数	解決したいと願っている空き家所有者にとっては、大事な補助金支給であると思うので、交付を継続してほしい。	活用が難しい空き家への対応策として、本制度による支援の継続が必要と捉えています。	

大崎市環境の状況に関する報告書(令和5年度の取り組み)に関する意見等及び回答

ページ	担当課	成果指標	意見等	担当課回答	備 考
41	農政企画課	学校給食における地場産野菜などの利用品目の割合	学校給食用の市内食材納入業者が減少したことですが、その理由（原因）は分かっているのでしょうか。	学校給食における市内食材の調達において、購入先である市内販売業者から、対象品種が不足しているとのことであり、減少しました。なお、令和6年度においては、購入先に地元農協を含めたことから、改善することが見込まれております。	R5年度：16.5%（実績） R6年度：18.8%（見込）
45	建設課	排水路改良工事事業浸水対策事業進捗率	春・秋の統一清掃で、地域住民が自助努力していますが、手の届かない所の調査と工事の実施が必要ではないかと思います。	春・秋の市民統一清掃により、排水路の流れが悪く滞った状態が解消されるなど、周辺環境の維持に地域住民のご協力をいただいているところであります。現在、行政による既設水路の積極的浚渫を行っていることから、十分な断面、流量の確保、排水能力の向上など、引き続き浸水被害軽減を目指してまいります。また、雨水や生活排水の円滑な処理と衛生的な環境整備のため、現地調査を基とした排水路整備計画により、排水路整備を継続して実施してまいります。	
48	下水道施設課	公設浄化槽整備率	大崎市の公設浄化槽整備率は、県内はもとより国内においても高い整備率を誇っています。行政の少ない人員体制の中、今後公共浄化槽やスマート浄化槽としてDX化や脱炭素化、資源循環型等々の貢献が期待されています。何かと大変と存じますが、世界農業遺産に認定された灌漑用水や河川の水質保全のためにご尽力頂けますようお願いします。	公設浄化槽整備につきましては、維持管理内容を見直し経費回収率の向上に努めながら、河川等の公共用水域の水質保全や市民の生活環境の改善に取り組んでまいります。	
59・76	環境保全課	エコアクション実施数	私が所属する組織では、使用済みの廃食用油をリサイクルしたバイオディーゼル燃料で走るゴーカートを使用したエコアクション事業である環境教育出前講座を実施している。今年も宮城県環境政策課や大崎市からの依頼により10校程の環境教育出前講座を行った。もっともっと市民や子供たちに環境に興味を持ってもらうために大崎市教育委員会と連携し校長会等でプレゼンをさせて頂きPRして頂きたい。令和6年度において、宮城県北部地方振興事務所主催の夏休み親子体験プログラム「ファクトリーテーマパーク事業」において工場見学会や廃食用油を利用したエコキヤンドル作りに50組の親子の申し込みを頂いた。いかに市民に認知してもらうか広報PR情報発信に力を入れて頂きた。	ゼロカーボン社会の実現に向け、さらなる環境教育や啓発活動の重要性を認識しているところです。多くの市民の方々に、自分ごととして捉え、環境行動につなげていただけるよう、情報発信やPRの方法を工夫してまいります。	

大崎市環境の状況に関する報告書(令和5年度の取り組み)に関する意見等及び回答

ページ	担当課	成果指標	意見等	担当課回答	備 考
60	産業商工課	木質チップ利用でのCO2排出抑制効果	ボイラ一構造上の欠陥の修正を。	評価の参考とし、今後の進め方を検討してまいります。	
61	産業商工課	廃食用油回収量	私が所属する組織では、大崎市をはじめ、大衡村、登米市において廃食用油市民回収を実施している。また最近では市内企業の社員食堂より廃食用油を回収し、リサイクルをしたバイオディーゼル燃料をフォークリフトや発電機、トラック等で利用して頂きSDGs未来都市おおさきを牽引いただいている。地球温暖化防止がまったくない状況の中、エネルギーの地産地消を含めて大崎市バイオマス産業都市構想の大切な事業だと考えます。ぜひ実務者レベルでの積極的な連携を期待しております。	バイオディーゼル燃料の利用促進のため、引き続き関係各所との連携、事業の推進に努めてまいります。	
その他			まちづくりを兼ねた環境整備について ・総合運動場の整備を是非→総合体育大会の誘致のため ・公園の配置と整備を是非→子育てに必要な散歩、散策のための公園が不足している。	貴重なご意見として承ります。 今後とも、地域の活性化や子育てに資する環境整備に努めてまいります。	
その他			書面決議での開催について：大崎市環境審議会規則には書面決議について定義されていません。 同規則では委員の半数以上の出席がなければ開くことができないとあり、書面による決議に正当性が担保されません。書面による決議はそもそもCOVID-19の感染拡大への対応を迫られた際に緊急措置として行われるようになったものであり、緊急事態が解除された現在にあっては会議開催の原則に戻るべきです。 また、環境審議会は10名までの傍聴が可能とされており、書面決議では市民の知る権利を侵害しており、審議会の正当性をどのように説明するのでしょうか。仮に審議会規則で書面決議を定義したとしても、市民の知る権利を阻害すべきではありません。	審議会につきましては、基本的には対面での会議開催とするものですが、今回の会議につきましては、日程面や議題内容等を踏まえ、令和6年度第2回大崎市環境審議会においてご説明した上で、書面会議での対応とさせていただきました。また、市民の知る権利の確保につきましては、書面会議でのご意見（委員名匿名）及び回答を、後日市ウェブサイトに掲載し、情報公開することで、今回の対応とさせていただきますので、ご理解賜りますようお願いいたします。	
その他			現在、文化庁「公用文作成の考え方」で、読点は「、」（テン）を用いることを原則とするとされているので、「、」ではなく「、」の方が良いと思います。	貴重なご意見として承ります。 本市の取扱いとして「、」を使用していますが、例規類改正などの影響も踏まえ、現時点では取扱いに変更がない見込みです。	